

12/21(日)

10:30～12:00 クリスマス礼拝

イエス・キリストのお誕生に一番近い日曜日にクリスマスの礼拝をささげます。世界中のキリスト教会でささげられています。

13:30～15:00 燭火礼拝 (キャンドル・ライト・サービス)

わたしは世の光です、と言われるイエス・キリストのお誕生をローソクの光の中で喜び讃えます。キャロルの歌と聖書の言葉をもって、お誕生のストーリーをたどります。

12/24(水) クリスマス・イブの夕べ

19:00～♪ベアンテ・ボーマン・チェロコンサート♪

美しいチェロの調べとユーモアあふれるメッセージをお楽しみください。
コンサート後、逆瀬川駅前へキャロリングに出かけます。



ベアンテ・ボーマン(チェロ)

スウェーデンのマルム市で生まれる。ストックホルム王立音楽大学で最優秀賞を授与され、ゴッデンブルグ市の国立歌劇場の主席チェロ奏者を務める。その後、ドイツの国立フルクヴァンク芸術大学、フィンランドシベリウス・アカデミーで学ぶ。1980年より東京交響楽団で、主席チェロ奏者として活躍する。神学博士、全日本山岳写真協会会員。

ルリ子・ボーマン(ピアノ)

武蔵野音楽大学卒業後、ドイツの国立フルクヴァンク芸術大学で学び、帰国後、ベアンテ氏と結婚。夫君の伝道コンサートでの伴奏や通訳を担当している。

讃美歌誕生秘話 「主よ人の望みの喜びよ」

クリスマスの讃美歌は多くありますが、バッハ作曲のこの曲も、世界中の人々に愛されています。

もとは「心と口を行いと生活で」という教会カンタータだったのですが、後に第6曲「イエスこそわが喜び」と第10曲「イエスは変わらざるわが喜び」のコラール合唱をもとに編曲がなされ、“Jesus, Joy of Man's Desiring”「主よ人の望みの喜びよ」として世に知られるようになりました。

ところで、バッハは聖書に描かれているクリスマスの一場面に基づいて、この曲を作曲しました。イエス・キリストの母マリアの讃歌(マグニフィカート)です。マリアは、天使からキリストの受胎を告げられた後、親類のエリサベツのもとを訪れた時にこの歌をささげたのです。

「わがたましいは主をあがめ、
わが靈は、わが救い主なる神を喜びたたえます。」

このように始まるこの讃歌は、神様が、イエス様を通して、全ての弱い人々や虜められた人々を引き上げてくださることへの喜びと感謝が表されています。

私たちはなぜクリスマスを喜ぶのでしょうか。神の子イエス様が、私たちを救うために、この地上に来てくださったからです。



宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9

TEL:0797-73-6076

E-mail : info@takara-eikou.com

<http://www.takara-eikou.com>

希望のダイヤル 0797-77-3746

毎週更新。24時間つながります。

ボットキャスト
でも配信中！
ホームページから
利用できます。

わたしたちは統一教会、ものの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なキリスト教会です。もし困りの方はご相談ください。

インフォメーション

2015年 元旦礼拝

1/1(木) 11:00～

新年を神様の前から始めることは、大きな祝福になります。ご家族おそろいで、ご出席ください。



ケアプラン
デイサービス
オリーブの実

「ケアプラン オリーブの実」
☎:0797-73-6055

「デイサービス オリーブの実」
☎:0797-73-6077

お気軽にお問い合わせ・ご相談ください。

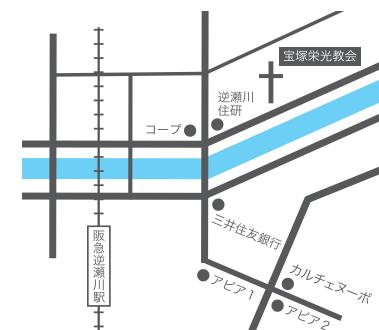
宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9

TEL:0797-73-6076

E-mail : info@takara-eikou.com

<http://www.takara-eikou.com>

へりくだられたイエス様

子どもの頃は、クリスマスと言えば、サンタクロースからプレゼントをもらうのが楽しみでした。しかし、本当のクリスマス・プレゼントは、神様が私たちにお送りくださったイエス・キリストだということを、ずいぶん後になって知りました。

イエス様は、罪のない神様のひとり子でした。神様と同じ栄光と権威を持っておられたのです。ところが、イエス様は、それらを一切かなぐり捨ててこの世に来られました。むさ苦しい家畜小屋で産声を上げられ、粗末な飼葉おけに寝かされました。神の子がそんなお姿でお生まれになると、誰が予想できたでしょう。イエス様は、まさに貧しくなってこの世に来られたのです。

聖書にこう書いてあります。「キリストは神の御姿である方なのに、神のあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました。人としての性質をもって現れ、自分を卑しくし、死にまで従い、實に十字架の死にまでも従われました。」(ピリピ人への手紙2章6～8節)

これは、イエス様がいかにへりくだった御方だったかを表す言葉です。神であられた御方が、私たちと何ら変わらない人間となつて、この世にお生まれになったのです。そして、貧しい者と共に歩まれ、友なき者の友となられ、ついに十字架にかかりました。十字架は、最も凶悪な犯罪者がつけられるはずのものでしたが、罪なき神の子がその十字架についてくださいました。

それは、私たちが罪と滅びから救われるためでした。イエス様は、罪を持ったままで滅びゆく私の身代わりに十字架で死ぬために、この世に生まれてくださったのです。これがクリスマスの意味なのです。

私たちは、ごうまんになりやすいものです。ほめられたら鼻を高くし、認められないと思ったらはらわたを煮え繰り返すような者です。そんな私たちが、心低い者に造り変えられるために、イエス様は人となってこの世に来られたのです。

今こそ、クリスマスの本当の意味を知って、心から救い主のご降誕をお祝いしましょう。



「アスパラの実」

アスパラ畠で見つけた 宝物
宝石のような まっかな実だった

収穫を終えた後の アスパラ畠は
ふっとさびしさを覚えるような 光景だった
おいしいアスパラをありがとう!と
やさしく風に揺れているやわらかい葉に そっと顔を近づけた時
小さな小さな白い花を 見つけた
5mmぐらいだから 近づかないとわからない

アスパラはユリ科の植物
そして雌雄異株だから この株は雌株だったのだ
小さな小さな白いユリの花が 列をなしているようだった

花から青い実になり やがて赤く色づいて 冬を迎えた

今年も アドベントの時期が巡り来て
小さな赤ん坊の誕生を 祝うこのころ

野辺の自然界に 赤い実を見つけたうれしさ
生けるものすべてが 喜び合っているようだ

このアスパラの赤い実の中には アスパラの種がつまっている
喜びの種がまかれて 広がっていけばいいなあ

生けるもの凡て おののきて黙せ きみの君なれど マリヤより生れ
世の思い棄てて ひたすらに仰げ うまぶねの中に 産声をあげて
かみの御子は くだりたもう おのが身をば あたえたもう
このきよき日にぞ つみびとのために

とこしえの光 暗き世にてりて
つかい あが
み使は御子を かしこみて崇む
いざわれらも ほめうたわん

いとたかき君を

(賛美歌)